

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

■施工上のご注意

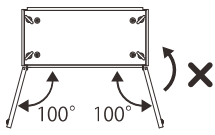
警告							
<p>基台を固定するアンカーボルトは M12、壁面を固定するアンカーボルトは M10 を必ず使用してください。地震などで転倒・破損の原因となります。</p> <p>本品を吊り上げる場合はアイボルトを使用し、必ず 4 か所で吊り上げ、45° 以上の角度で均一な荷重にしてください。2 か所での吊り上げや 45° 未満の角度での吊り上げは、落下・破損・変形の原因になります。</p> <div style="text-align: center;"> <p>45° 以上</p> </div>	<p>基台は M12 のアンカーボルトで床面に 4 か所固定してください。また、キャビネットは別売りオプション RD742-20K「壁面固定金具」を使用して、M10 のアンカーボルトで壁面に 2 か所固定するなど転倒防止を行ってください。但し、十分強度のある壁面（コンクリート）に確実に固定してください。強度が不十分な場合、キャビネットが転倒し、けがの原因となります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ボルト径</td> <td>M12</td> <td>M10</td> </tr> <tr> <td>最小埋込深さ</td> <td>60mm</td> <td>45mm</td> </tr> </table> <div style="text-align: center;"> </div>	ボルト径	M12	M10	最小埋込深さ	60mm	45mm
ボルト径	M12	M10					
最小埋込深さ	60mm	45mm					

注意	
<p> 本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃により破損・へこみ・歪みが発生し、強度低下の原因になります。</p>	<p> キャビネット本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。ドアの開閉やユニットの操作に支障をきたすおそれがあります。</p>

■使用上のご注意

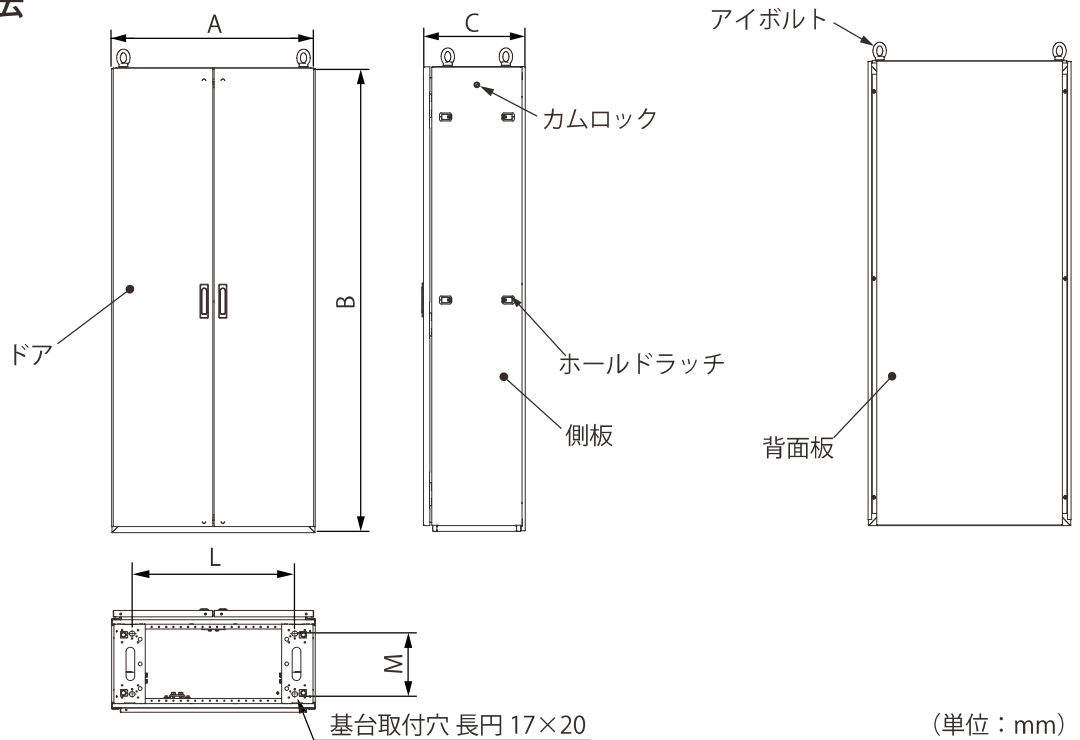
注意	
<p> ユニット可動時に光ファイバの挟み込みや巻き込みに十分注意してください。光ファイバ断線の原因になります。</p> <p>心線がケーブルガイドの外にはみ出さないように十分注意してください。引出し可動時に光ファイバ断線の原因になります。</p> <p>引き出しユニットを引き出した状態で別の作業を行う時は十分に注意してください。けがの原因になります。</p> <p>ドア、側板や背面板を着脱する時は、重量がありますので落下などのないよう十分に注意してください。けがの原因になります。</p> <p> 指に注意 ドアの着脱を行う際は、ドアとキャビネット本体の間に指を挟まないでください。けがの原因になります。</p> <p>ドアの着脱を行う際は、ヒンジのレバー操作で指を挟まないでください。けがの原因になります。</p>	<p> ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けしないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p> <p>シリンダーにキーを抜き差ししながら回転動作は行わないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p> <p>シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。</p> <p>ヒンジのレバー操作は電動ドライバーで行わないでください。破損の原因になります。</p> <p>ヒンジのレバーを逆回転や無理な回転をしないでください。十字穴・ギア部が破損するおそれがあります。</p> <p>本製品の上に物を載せたり、もたれ掛かったりしないでください。落下・破損・けがの原因になります。</p> <p>天井面への局所的な荷重をかけないでください。変形の原因になります。</p>

⚠ 注意

<p>引き出しユニットを引き出した状態で、引き出しユニットに荷重をかけないでください。落下・破損・変形の原因になります。</p> <p>ドアの開閉角度は約100°です。扉を開けた状態で、矢印方向にさらに荷重を掛けしないでください。ドアおよび蝶番部の変形・破損の原因になります。</p> 	<p>使用するねじやボルトは、指定されたものを使用してください。</p> <p>取り付けの際は、適正締め付けトルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締め付けトルク</th> </tr> <tr> <td>M5</td> <td>2.9 ~ 3.9 N・m</td> </tr> <tr> <td>M10</td> <td>19.6 ~ 29.4 N・m</td> </tr> </table> <p>ケーブルガイドはスライドさせて取り付け、取り外してください。ケーブルガイドを回転させると破損するおそれがあります。</p> <p>ユニットは作業終了後、必ず収納してください。ユニットが飛出し、落下・破損・けがの原因になります。</p>	ねじの呼び	適正締め付けトルク	M5	2.9 ~ 3.9 N・m	M10	19.6 ~ 29.4 N・m
ねじの呼び	適正締め付けトルク						
M5	2.9 ~ 3.9 N・m						
M10	19.6 ~ 29.4 N・m						
<p>次の場所では使用しないでください。故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高温、高湿となる場所 • 腐食性ガスのある場所 • 振動、衝撃のある場所 • 可燃性ガスのある場所 • 塵埃やオイルミストが多い場所 • 有機溶剤のかかる場所 • 水滴のかかる場所 	<p style="text-align: center;">!</p>						

※標準は4心テープ心線用です。他のテープ心線または単心を使用の場合は別途お問合わせください。
 ※下側からの入線を標準としていますので、上からの入線の場合は別途お問合わせください。

■キャビネット寸法



■仕様

《融着接続 + コネクタ接続タイプ》

品名記号	融着接続数 (心)	クランプ数 (コ)	融着段数 (段)	アダプタ 段数(段)	外形寸法(mm)			取付寸法(mm)	
					A(ヨコ)	B(タテ)	C(フカサ)	L	M
SPE-SA100-SC	100	7	3	5	700	1,000	350	560	208
SPE-SA160-SC	160	〃	4	8	〃	〃	〃	〃	〃
SPE-SA240-SC	240	〃	6	12	〃	1,600	〃	〃	〃
SPE-SA340-SC	340	〃	9	17	〃	〃	〃	〃	〃
SPE-SA460-SC	460	〃	12	23	〃	2,300	〃	〃	〃
SPE-SA560-SC	560	〃	14	28	〃	〃	〃	〃	〃
SPE-SA600-SC-K	600	〃	8	30	800	1,800	400	660	258
SPE-SA880-SC-K	880	〃	11	44	〃	〃	〃	〃	〃
SPE-SA1000-SC-K	1,000	〃	13	50	〃	2,300	〃	〃	〃
SPE-SA1200-SC-K	1,200	〃	15	60	〃	〃	〃	〃	〃

●付属品

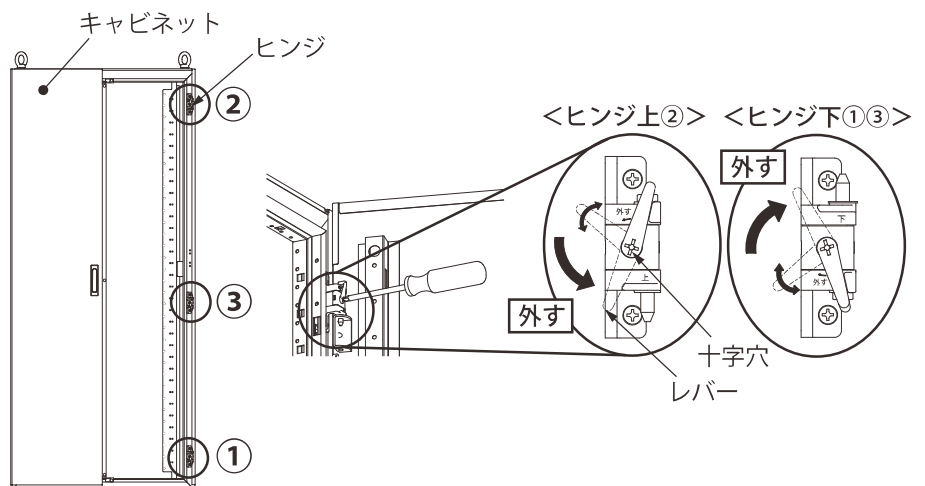
部品名 品名記号	キー (N.200) 	大型角座金 12 	保護チューブ (1セット:8色、各4m) 	補強熱スリーブ 	ドライバー 
SPE-SA100-SC	2コ	4コ	1セット	30本	—
SPE-SA160-SC	〃	〃	〃	42本	—
SPE-SA240-SC	〃	〃	2セット	60本	—
SPE-SA340-SC	〃	〃	〃	90本	—
SPE-SA460-SC	〃	〃	3セット	120本	—
SPE-SA560-SC	〃	〃	〃	144本	—
SPE-SA600-SC-K	〃	〃	〃	150本	1コ
SPE-SA880-SC-K	〃	〃	5セット	222本	〃
SPE-SA1000-SC-K	〃	〃	〃	252本	〃
SPE-SA1200-SC-K	〃	〃	6セット	300本	〃

■キャビネットの使用法

1. ドアの着脱方法

- ・ドアを 90° 以上に開いた状態で、フレームに取り付けられたヒンジのレバーで回転させ、ドアを着脱します。

- ※レバーが硬い場合は十字穴をドライバーで回転させてください。
- ・取り外し時のヒンジ部操作は、①下部 ②上部 ③中央の順で行ってください。また装着の場合は逆の順序となります。



⚠ 注意

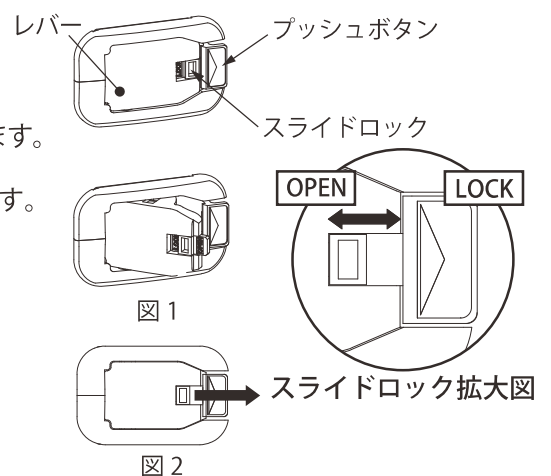
⊘	ヒンジのレバーを逆回転や無理な回転をしないでください。十字穴・ギア部が破損するおそれがあります。	⚠ 指に注意	ドアの着脱を行う際は、ドアとキャビネット本体の間に指を挟まないでください。けがの原因になります。
	ヒンジのレバー操作は電動ドライバーで行わないでください。破損の原因になります。		ドアの着脱を行う際は、ヒンジのレバー操作で指を挟まないでください。けがの原因になります。

2. ホールドラッチの操作方法

- ・側板の着脱は、ホールドラッチで行います。プッシュボタンを押すとレバーが跳ね上がり、外装パネルが外れます。また、側板を取り付ける際には、レバーを倒すとフレームに固定されます。(図 1)
- ・不意なレバーの跳ね上がり防止のためにロック機構が付いています。スライドロックをスライドさせることによりロックされます。スライドロックに「OPEN」、「LOCK」の表示があり、状態を確認することができます。(図 2)

(ご注意)

外装パネルを取り付けた後に、ラッチが確実にかかっているか、がたつきがないか確認してください。

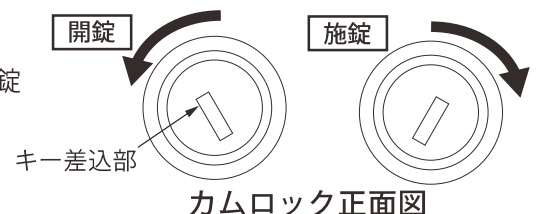


3. カムロックの操作方法

側板のセキュリティは、カムロックにて行います。カムロックにキーを奥まで差し込み、右回りにすると施錠し、左回りにすると開錠されます。

(ご注意)

施錠後、確実にロックされているか確認してください。

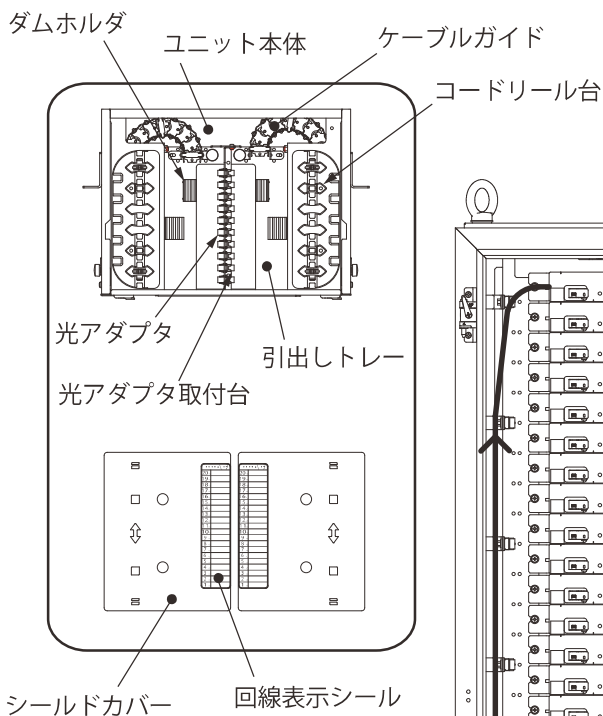


カムロック正面図

【スタンダードタイプ(SPE-SA□-SC)】

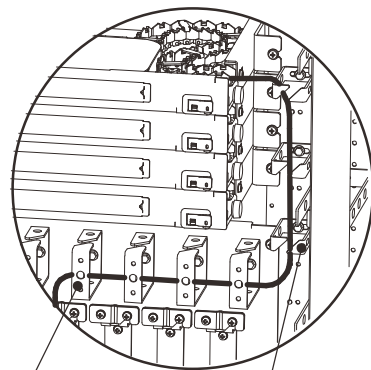
■各部名称および配線形態

①アダプタユニット

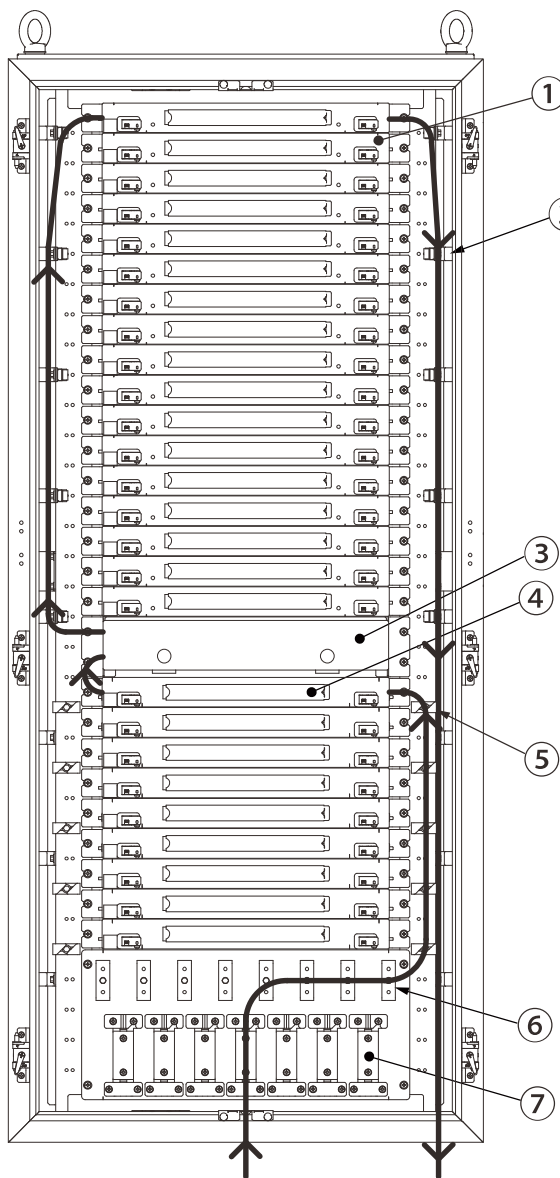


⑤コードホルダ前面

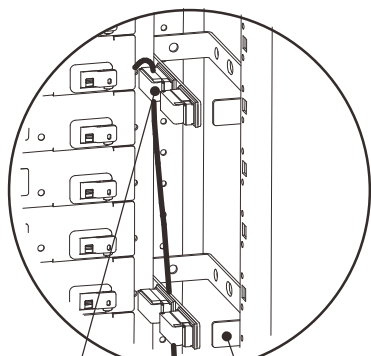
⑥ケーブルホルダ



ケーブルホルダ コードホルダ前面

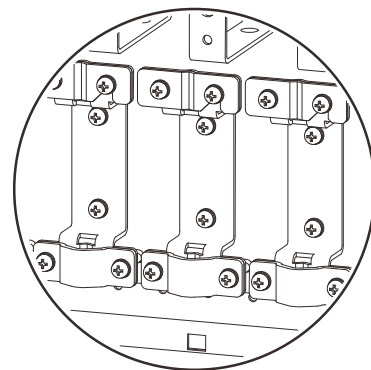


②コードホルダ側面

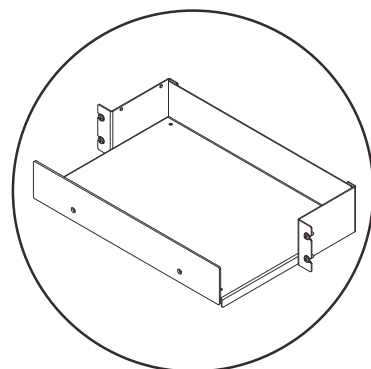


フラットケーブル クランプ
コードホルダ側面

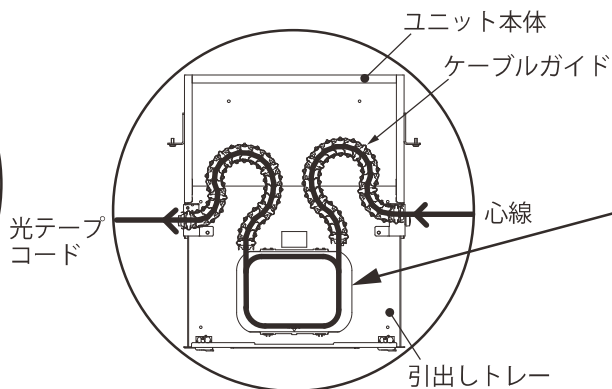
⑦ケーブルクランプ



③余長ユニット



④融着ユニット



融着トレーカバー

ファイバー押さえゴム

融着トレー

心線ホルダ

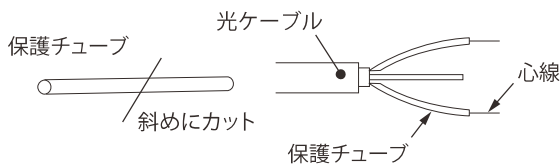
トレーシート

融着トレー部拡大図

■保護チューブの使用方法

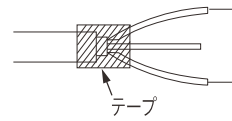
●保護チューブの挿入

1. 保護チューブの先端を斜めに切断します。
2. 光ケーブルの溝1つにつき保護チューブ1本を心線に挿入します。



●保護チューブのテーピング

- ・保護チューブとシース剥ぎ取り端部をテーピングします。(保護チューブの抜け防止)



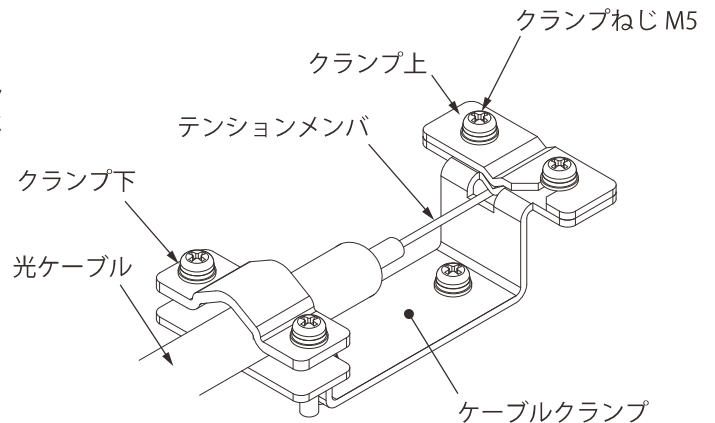
■配線手順

1. ケーブルクランプ

- ・光ケーブルの外被およびテンションメンバをケーブルクランプにのせ、クランプ上、クランプ下をクランプねじ M5 で固定してください。

(ご注意)

- ・テンションメンバクランプねじ M5 の締め付けは、 $2.5 \sim 3.0\text{N} \cdot \text{m}$ のトルクで行ってください。
- ・光ファイバの挟み込みに注意してください。断線の原因になります。



2. ケーブルホルダ、コードホルダ前面

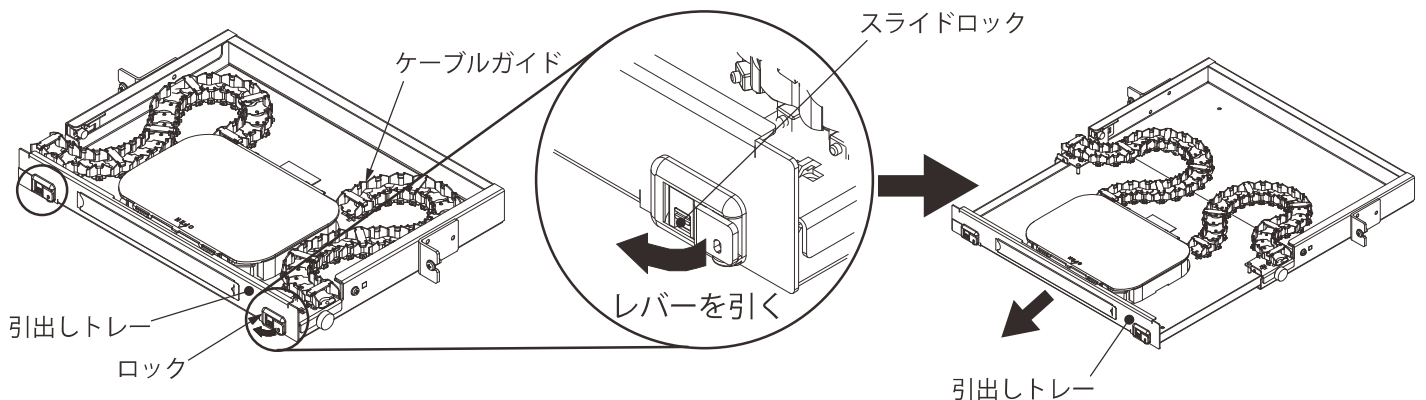
ケーブルホルダ、コードホルダ前面に心線（保護チューブ付）を通してください。

3. 融着ユニット

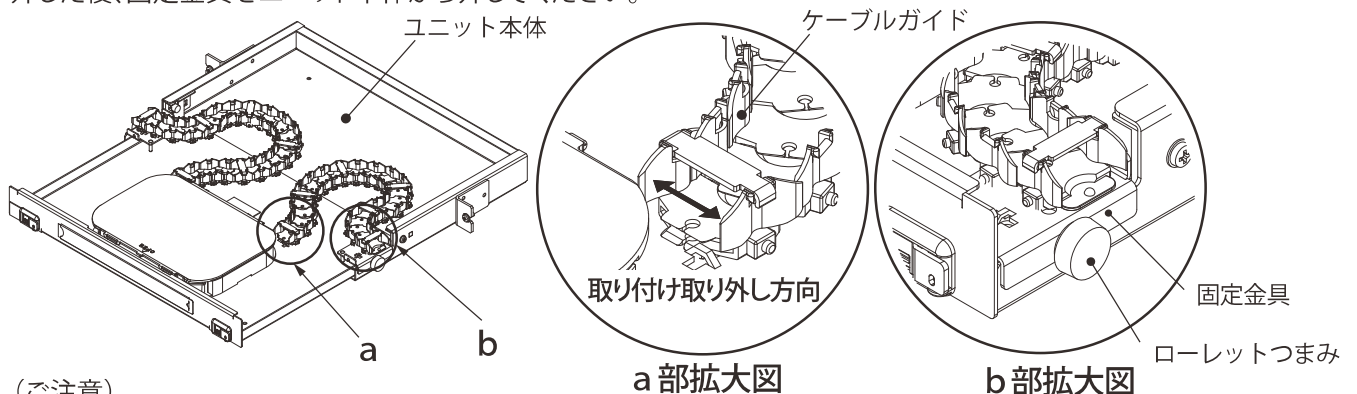
- ① スライドロックを解除し、レバーを引いて、引出しトレイを引き出してください。

(ご注意)

ケーブルガイドが引出しトレイ可動時に追従して動きますので、引き出し時の長さ調整を考慮する必要はありません。



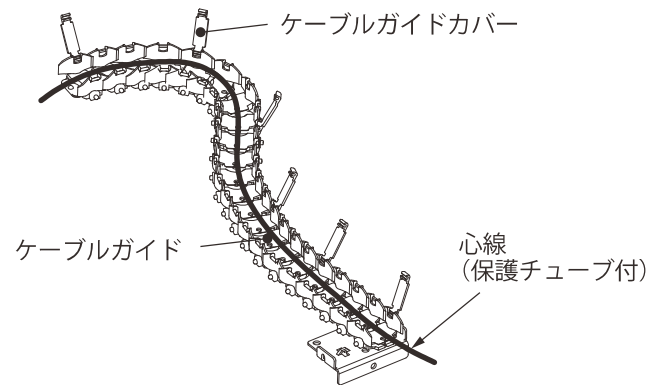
- ② a部のケーブルガイドは左右にスライドさせて取り外します。b部のケーブルガイドはローレットつまみを回して取り外した後、固定金具をユニット本体から外してください。



(ご注意)

ケーブルガイドは回転させないでください。ケーブルガイドが破損するおそれがあります。

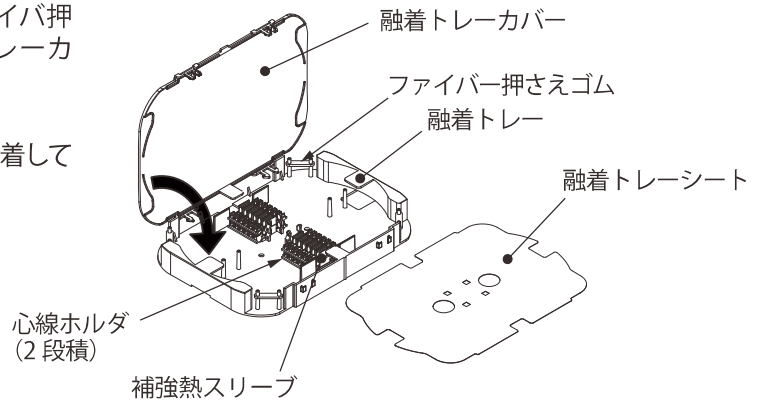
- ③ケーブルガイドカバーを外して心線(保護チューブ付)を上から挿入し、カバーを閉じてユニット本体に戻してください。※光テープコードも上記手順で行ってください。



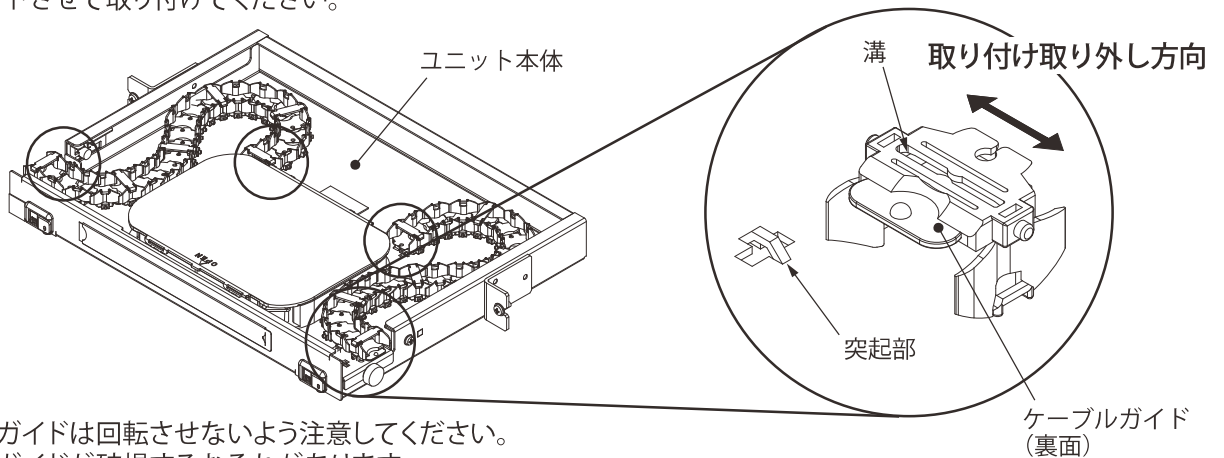
- ④補強熱スリーブ(付属品)を心線ホルダに固定し、融着トレー内に余長を収納してください。余長をファイバ押さえゴムおよびトレーシートで押さえ、融着トレーカバーを閉めてください。

(ご注意)

1ユニット(融着トレー)につき40心単位で融着してください。



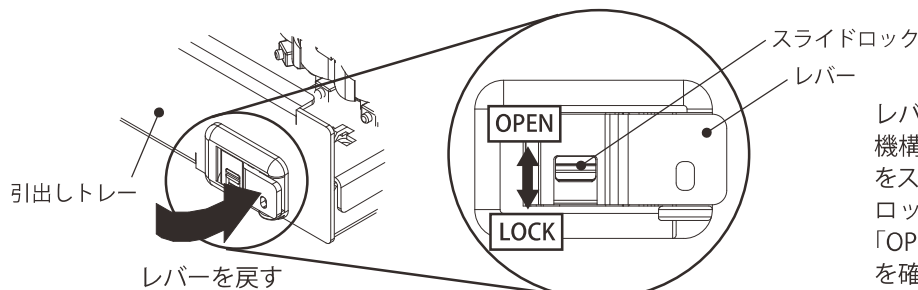
- ⑤ユニット本体の突起部にケーブルガイド裏面の溝を合わせ、左右にスライドさせて取り付けてください。



(ご注意)

ケーブルガイドは回転させないように注意してください。ケーブルガイドが破損するおそれがあります。

- ⑥レバーを戻し、引出しトレーを収納してください。スライドロックでロックをすることもできます。



レバーロック拡大図

レバーの誤操作防止のためにロック機構がついています。スライドロックをスライドさせることによりレバーがロックされます。スライドロックに「OPEN」「LOCK」の表示があり、状態を確認することができます。

(ご注意)

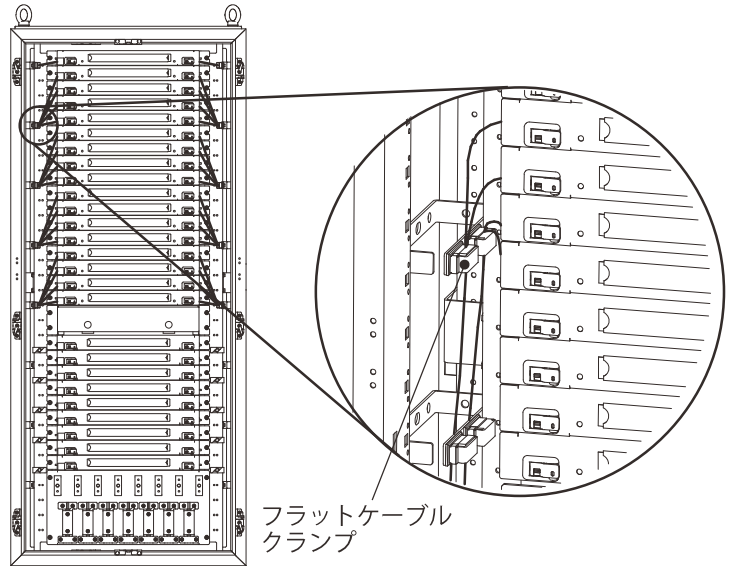
心線(保護チューブ付)、光コードがケーブルガイドの外にはみ出さないように十分注意してください。はみ出しがある場合、引出し可動時に光ファイバの断線の原因になります。

4. 余長ユニット

光コードの余長を余長ユニットに収納してください。

5. コードホルダ側面

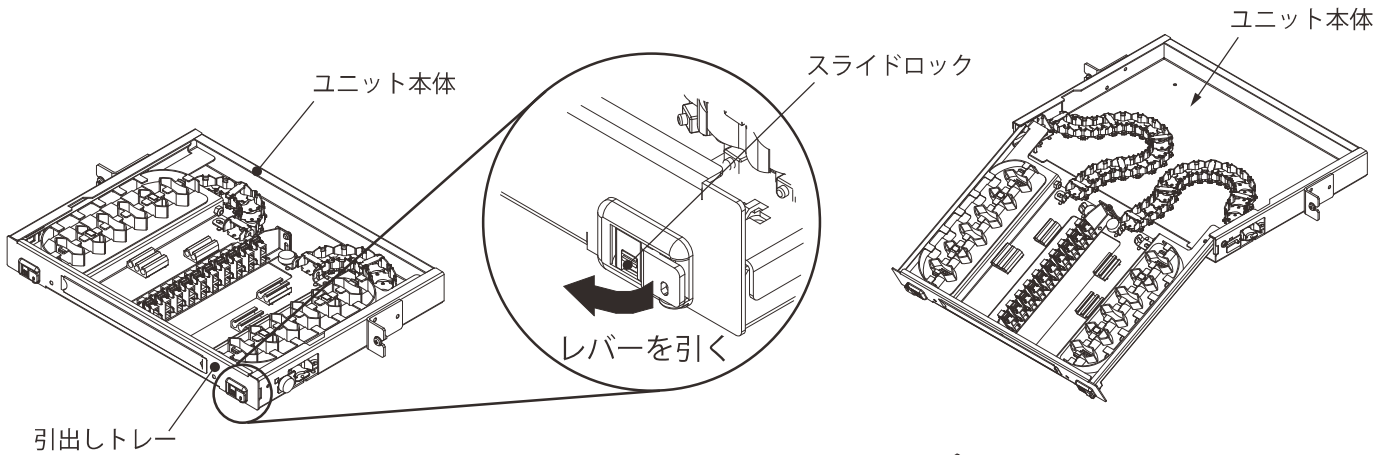
ケーブルガイドから出てくる光コードをフラットケーブルクランプで保持してください。
フラットケーブルクランプ保持の配線の割振りは、右図のように行ってください。
コードホルダ側面に光コードを通してください。



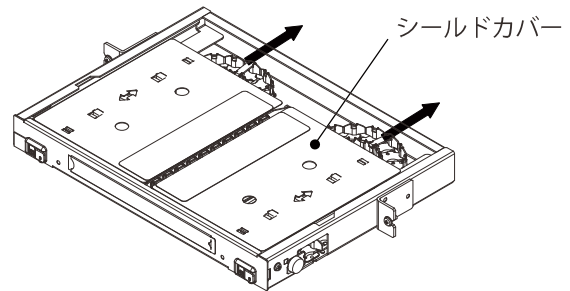
6. アダプタユニット

- ①スライドロックを解除し、レバーを引いて、引き出しトレイを引き出してください。
(ご注意)

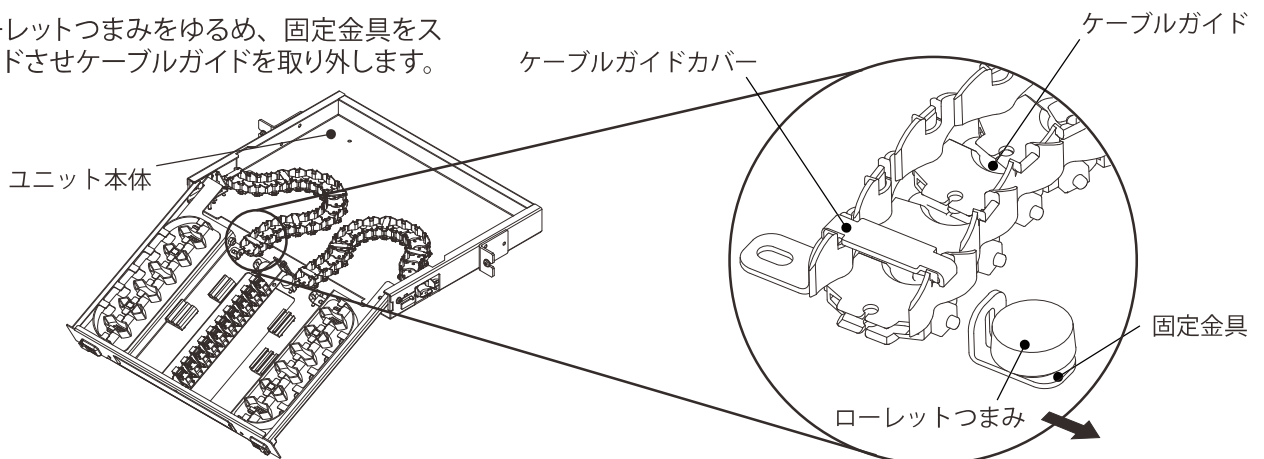
ケーブルガイドが引き出しトレイ可動時に追従して動きますので、引き出し時の長さ調整を考慮する必要はありません。



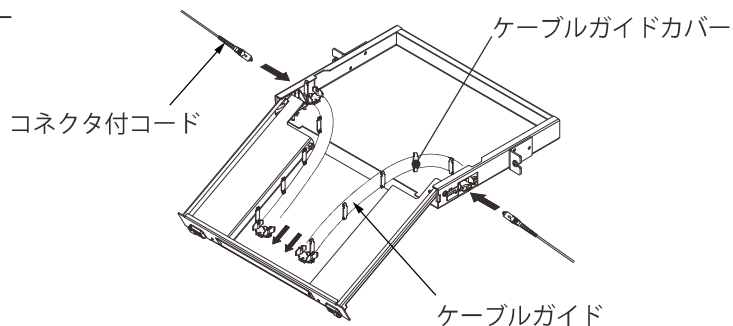
- ②シールドカバーを矢印の向きにスライドさせ取り外します。外しにくい場合はシールドカバーを軽く持上げてスライドさせてください。



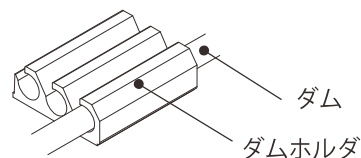
- ③ローレットつまみをゆるめ、固定金具をスライドさせケーブルガイドを取り外します。



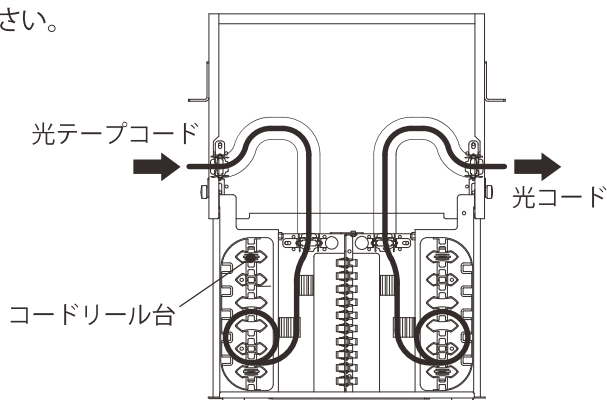
- ④ケーブルガイドを手前に引き、ケーブルガイドカバーを外し、側方からコネクタ付コードを挿入した後、ケーブルガイドカバーを閉じてユニットに戻します。



- ⑤ダムをダムホルダに固定します。
φ8、φ10mmのダムを固定することができます。

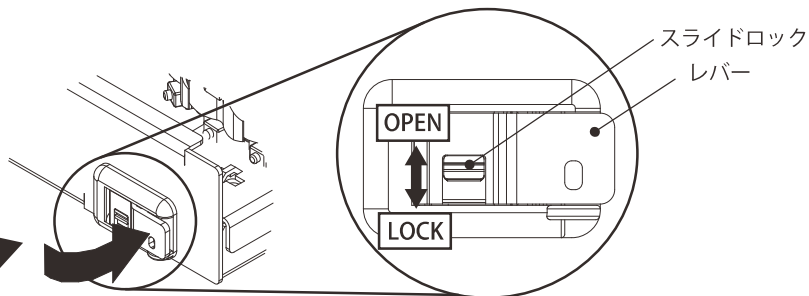
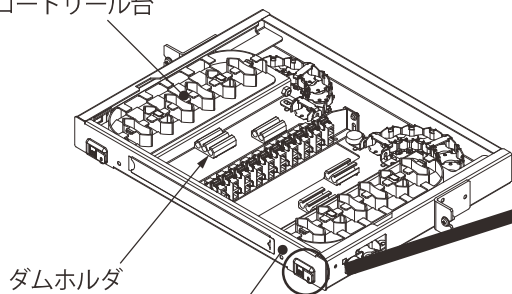


- ⑥光コードの余長をコードリール台に収納してください。



- ⑦レバーを戻し、引出しトレーを収納してください。
スライドロックでロックすることもできます。

コードリール台



レバーを戻す

レバーロック拡大図

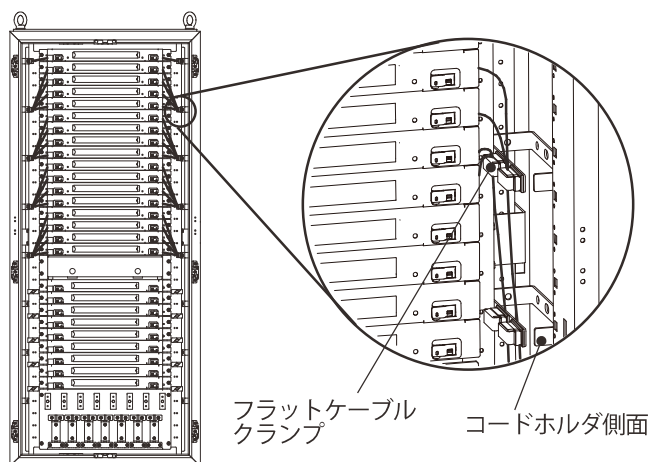
レバーの誤操作防止のためにロック機構がついています。スライドロックをスライドさせることによりレバーがロックされます。スライドロックに「OPEN」「LOCK」の表示があり、状態を確認することができます。

(ご注意)

光コードがケーブルガイドの外にはみ出さないように十分注意してください。
はみ出しがある場合、引出し可動時に光ファイバの断線の原因になります。

7. コードホルダ側面

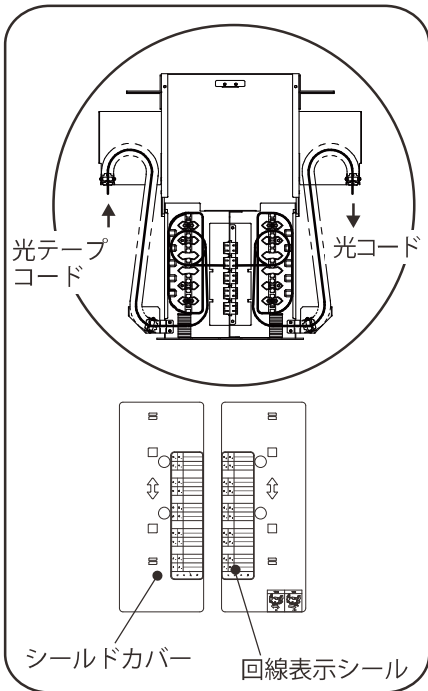
ケーブルガイドから出てくる光コードをフラットケーブルクランプで保持してください。
フラットケーブルクランプ保持の配線の割振りは、右図のように行ってください。
コードホルダ側面に光コードを通してください。



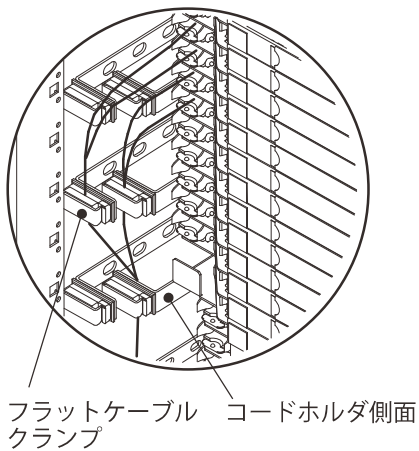
【高密度タイプ (SPE-SA□-SC-K)】

■各部名称および配線形態

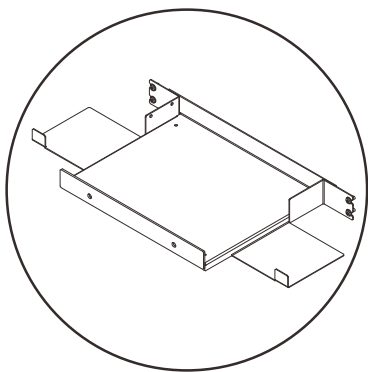
①アダプタユニット



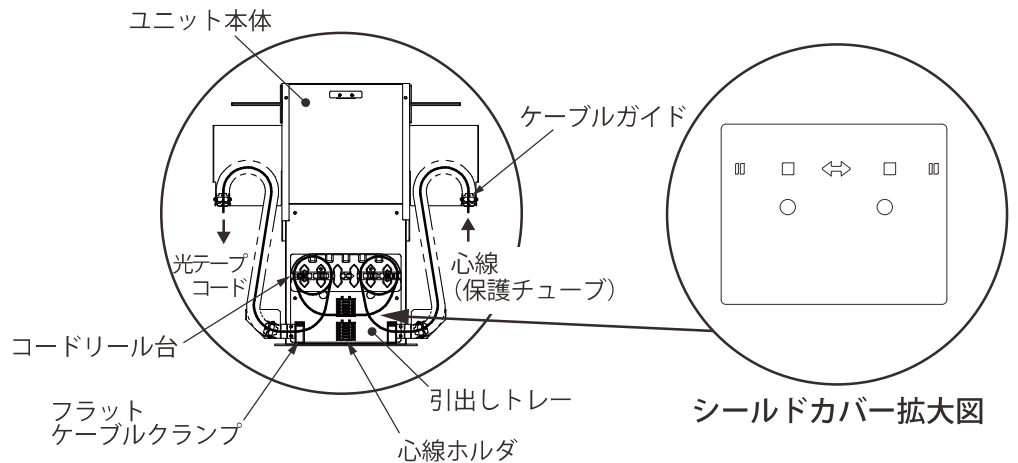
②コードホルダ側面



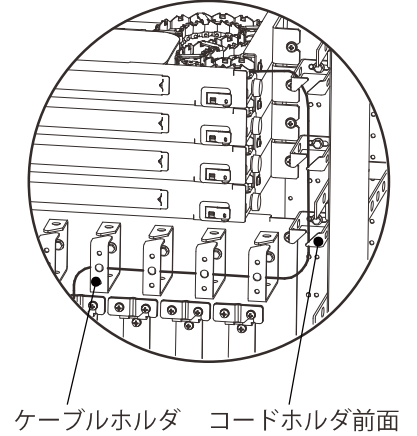
③余長ユニット



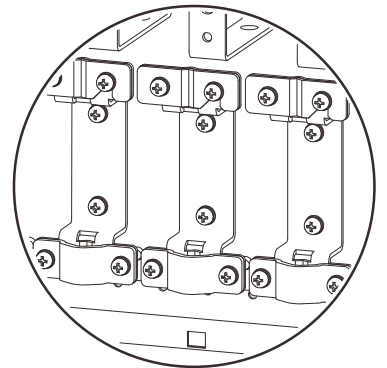
④融着ユニット



⑤コードホルダ前面 ⑥ケーブルホルダ



⑦ケーブルクランプ



■配線手順

1. ケーブルクランプ

「P.5 ■配線手順 1. ケーブルクランプ」を参照してください。

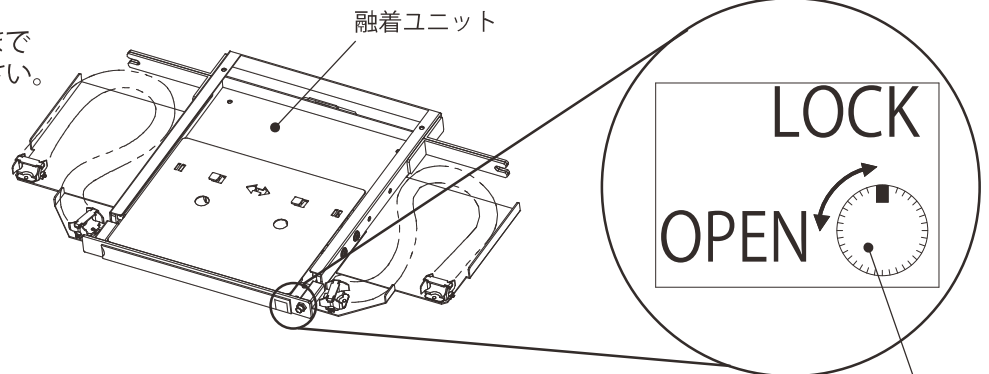
※ケーブルガイドがユニット引出し可動時に追従して動きますので、引き出し時の長さ調整を考慮の必要はありません。

2. ケーブルホルダ、コードホルダ前面

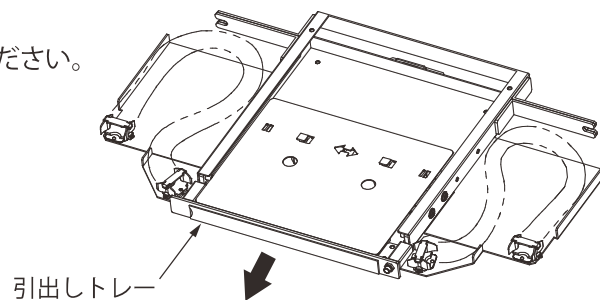
ケーブルホルダ、コードホルダ前面に心線（保護チューブ付）を通してください。

3. 融着ユニット

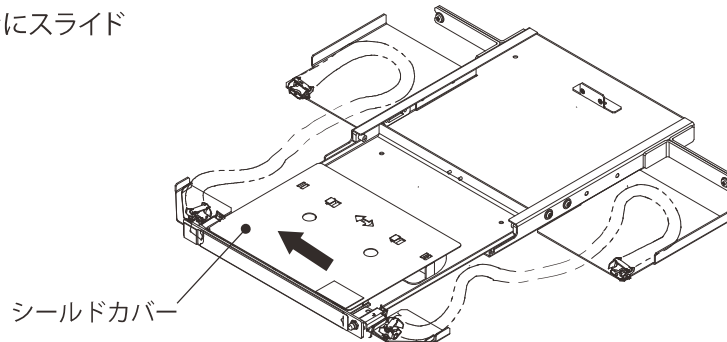
- ①つまみの目印をOPEN位置までまわしてロックを解除してください。



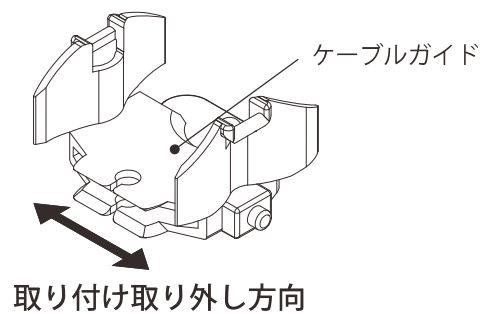
- ②引出しトレイを引き出してください。
引出しトレイは必ず両手で引き出してください。



- ③シールドカバーを矢印の向きにスライドさせて取り外してください。



- ④ケーブルガイドを左右にスライドさせて取り外してください。

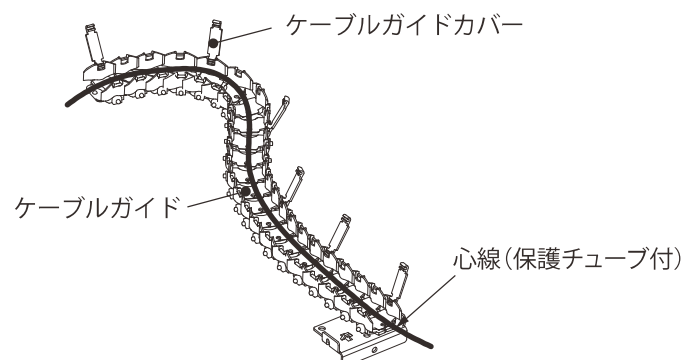
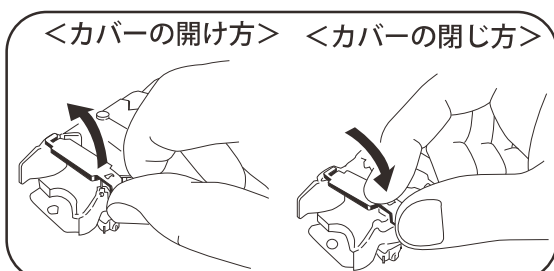


(ご注意)

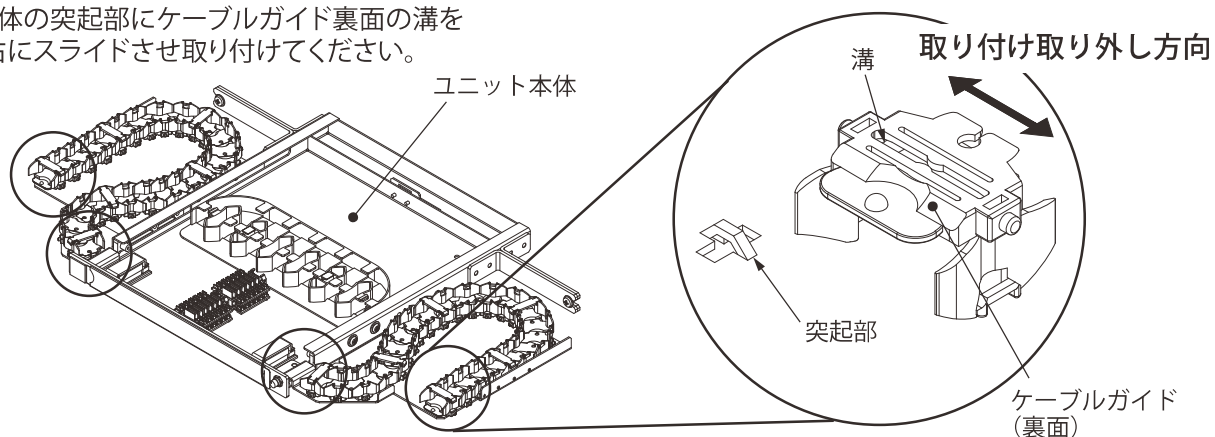
ケーブルガイドは回転させないように注意してください。

ケーブルガイドが破損するおそれがあります。

- ⑤ケーブルガイドカバーを外して心線（保護チューブ付）を上から挿入してください。
次にカバーを閉じてユニット本体に戻してください。
※光テープコードも上記手順で行ってください。



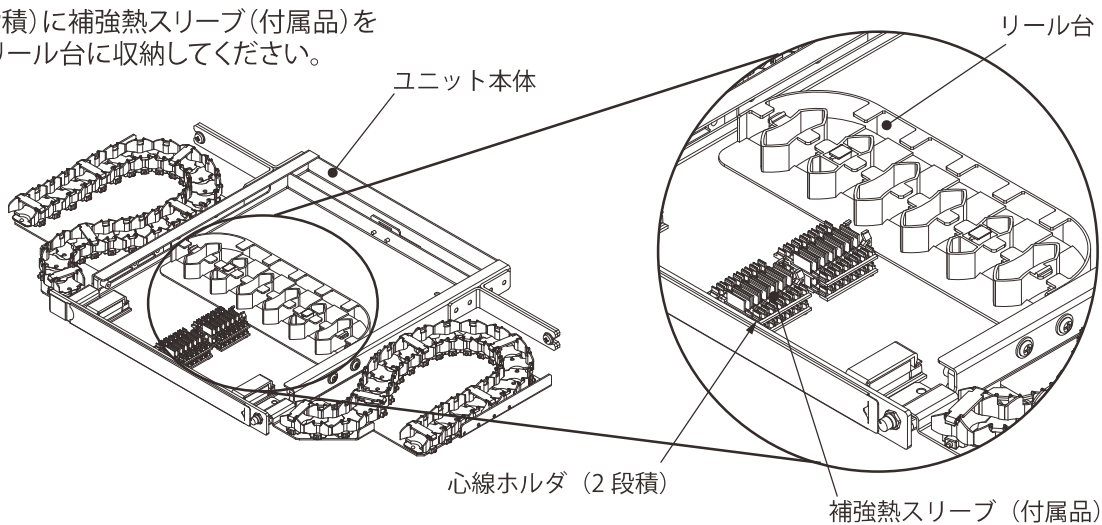
- ⑥ユニット本体の突起部にケーブルガイド裏面の溝を合わせ左右にスライドさせ取り付けてください。



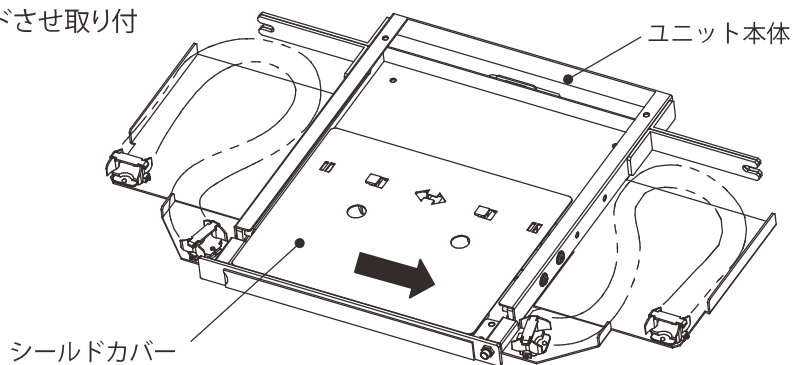
(ご注意)

ケーブルガイドは回転させないように注意してください。
ケーブルガイドが破損するおそれがあります。

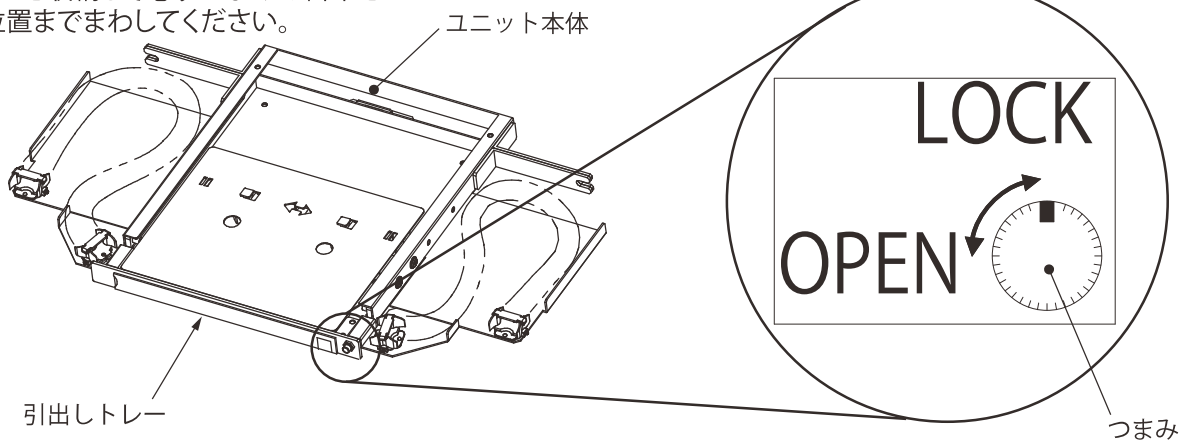
- ⑦心線ホルダ(2段積)に補強熱スリーブ(付属品)を差し込み余長をリール台に収納してください。



- ⑧シールドカバーを矢印の向きにスライドさせ取り付けてください。



- ⑨引出しトレイを収納して必ずつまみの目印をLOCK位置までまわしてください。

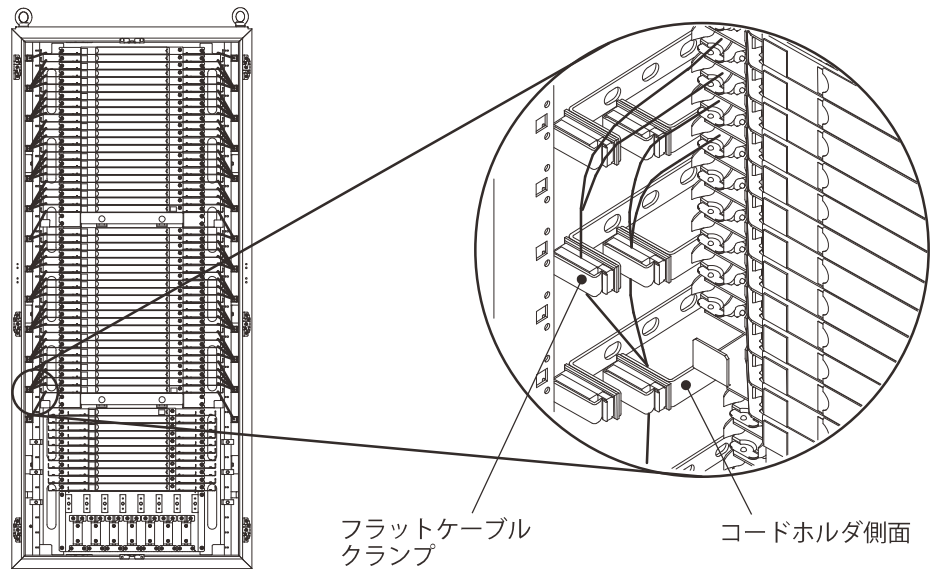


4. 余長ユニット

コードの余長を余長ユニットに収納してください。

5. コードホルダ側面

ケーブルガイドから出てくる光コードをフラットケーブルクランプで保持してください。
フラットケーブルクランプ保持の配線の割振りは、下図のように行ってください。
コードホルダ側面に光コードを通してください。

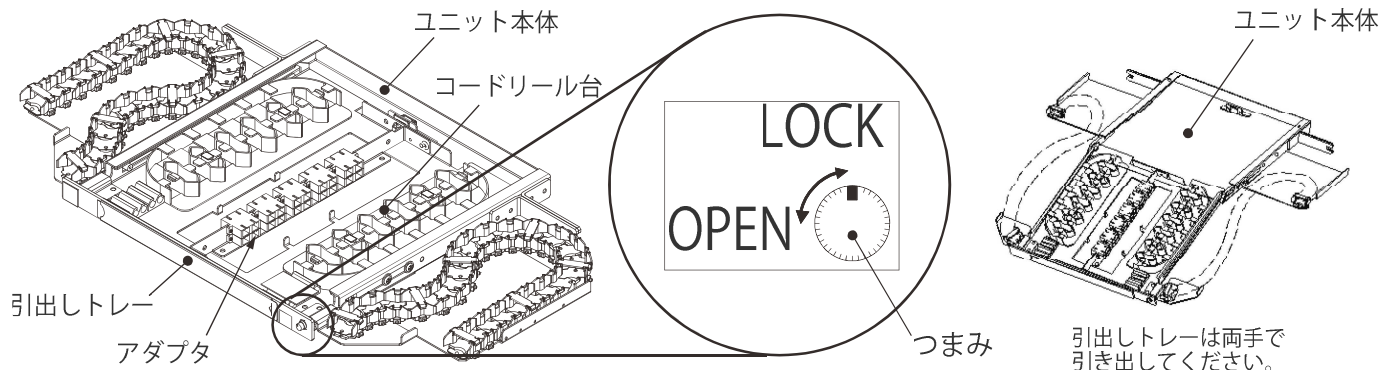


6. アダプタユニット

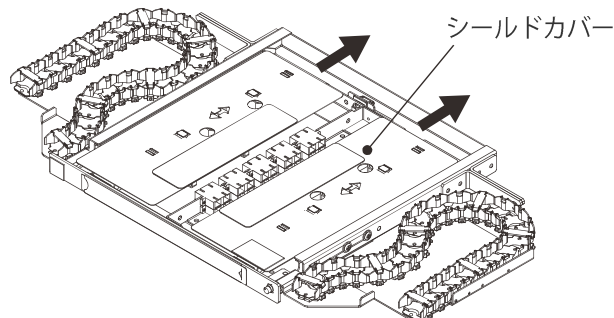
①つまみの目印を OPEN 位置まで回して、引出しトレイを引き出してください。

(ご注意)

ケーブルガイドが引出しトレイ可動時に追従して動きますので、引き出し時の長さ調整を考える必要はありません。



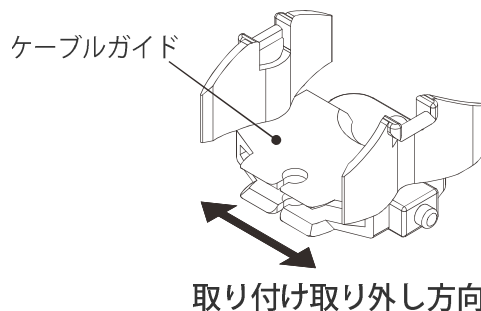
②シールドカバーを矢印の向きにスライドさせ取り外します。



③ケーブルガイドを左右にスライドさせて取り外してください。

(ご注意)

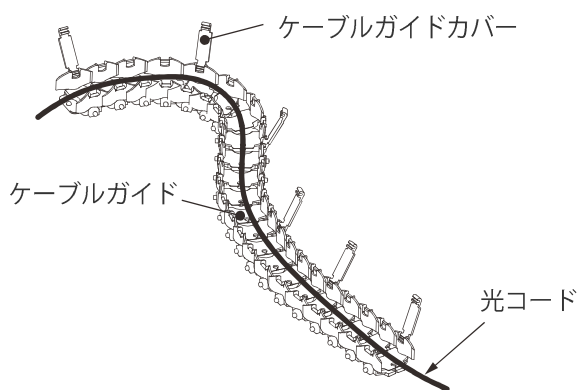
ケーブルガイドは回転させないように注意してください。
ケーブルガイドが破損するおそれがあります。



④ケーブルガイドカバーを外して光コードを上から挿入してください。

次にカバーを閉じてユニット本体に戻してください。

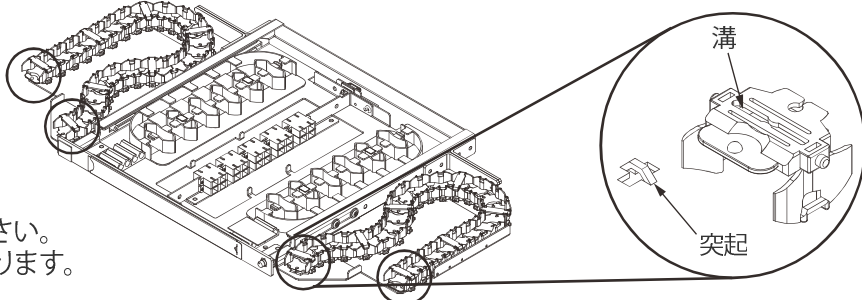
※光テープコードも上記手順で行ってください。



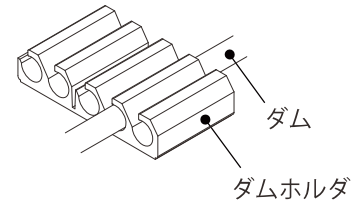
⑤ユニットの突起部にケーブルガイド裏側の溝を合わせ左右にスライドさせ取り付けます。

(ご注意)

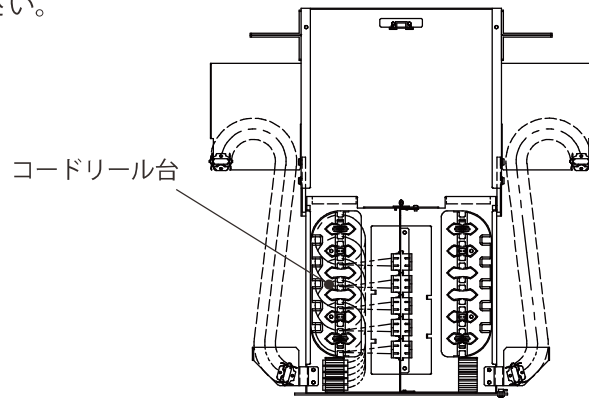
ケーブルガイドは回転させないでください。
ケーブルガイドが破損するおそれがあります。



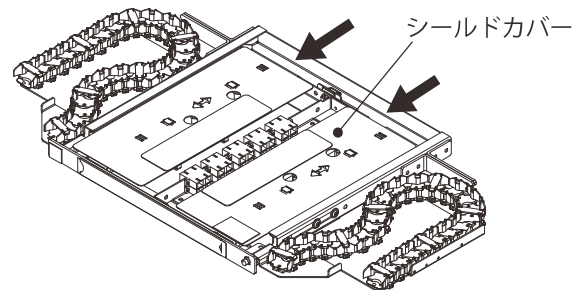
- ⑥ダムをダムホルダに固定します。
 $\phi 8$ 、 $\phi 10$ mm のダムを固定することができます。



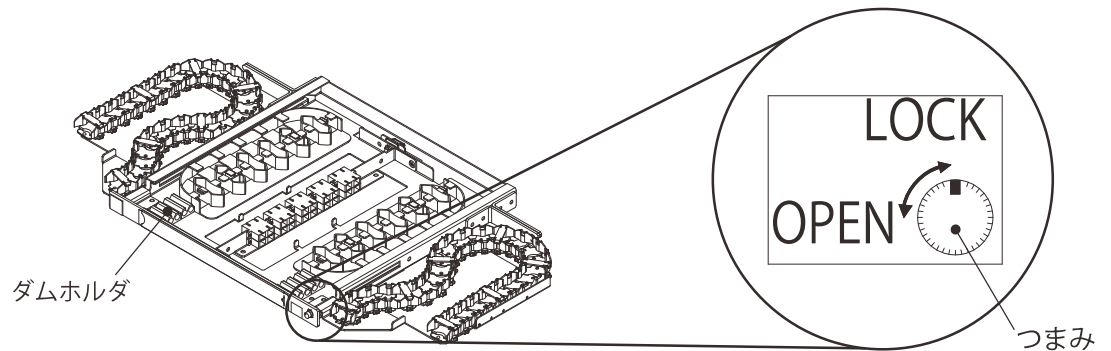
- ⑦光コードの余長をコードリール台に収納してください。



- ⑧シールドカバーを矢印の向きにスライドさせ取り付け
 てください。

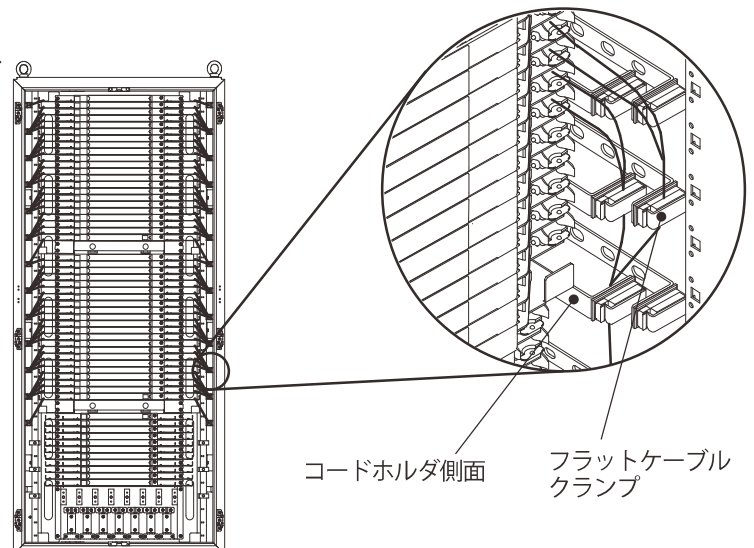


- ⑨引出しトレーを収納して必ずつまみの目印をLOCK
 位置までまわしてください。



7. コードホルダ側面

ケーブルガイドから出てくる光コードをフラット
 ケーブルクランプで保持してください。
 フラットケーブルクランプ保持の配線の割振りは、
 右図のように行ってください。
 コードホルダ側面に光コードを通してください。



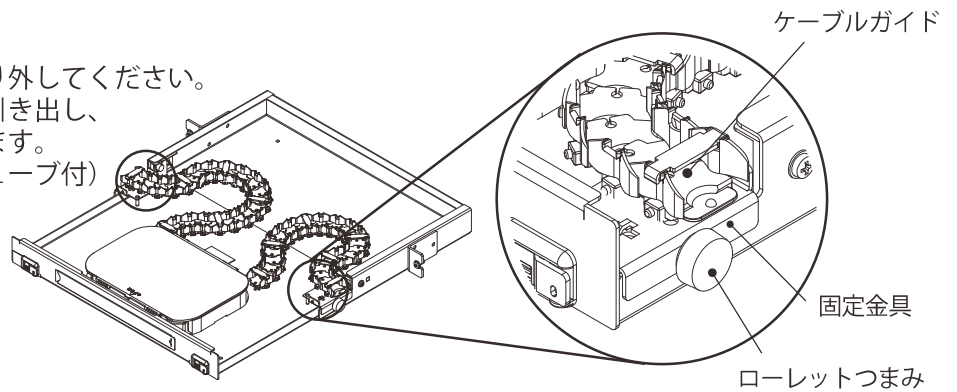
■配線後の追加

配線を後で追加する場合は、下記に示した箇所のケーブルガイドのみを取り外して配線作業をしてください。
既存配線に影響なく配線を追加することができます。

【スタンダードタイプ (SPE-SA□-SC)】

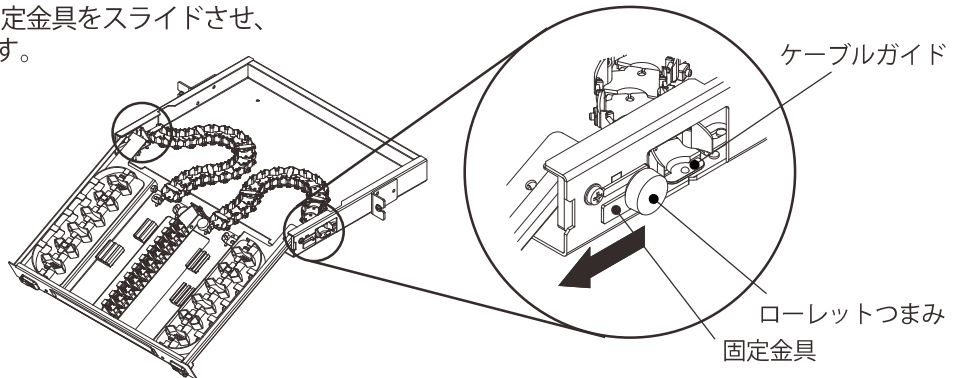
融着ユニット

- ①ローレットつまみを回して取り外してください。
- ②固定金具とケーブルガイドを引き出し、ケーブルガイドカバーを外します。光コードおよび心線（保護チューブ付）を配線してください。

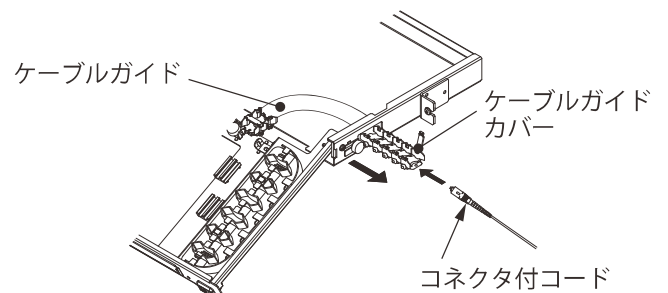


アダプタユニット

- ①ローレットつまみをゆるめ、固定金具をスライドさせ、ケーブルガイドを取り外します。



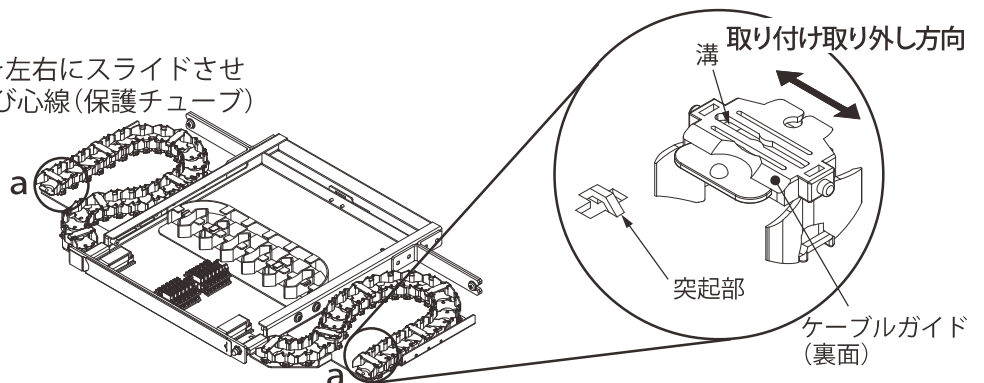
- ②①で取り外したケーブルガイドを引き出し、ケーブルガイドカバーを外します。光コードを配線してください。



【高密度タイプ (SPE-SA□-SC-K)】

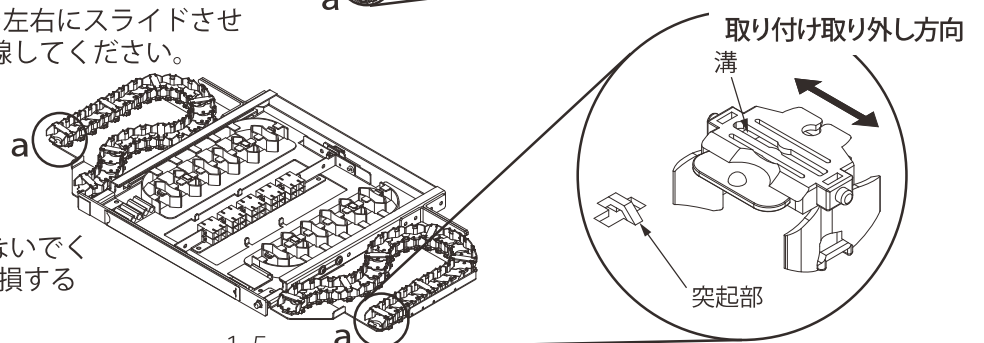
融着ユニット

- ・下図a部のケーブルガイドを左右にスライドさせ取り外します。光コードおよび心線（保護チューブ）を配線してください。



アダプタユニット

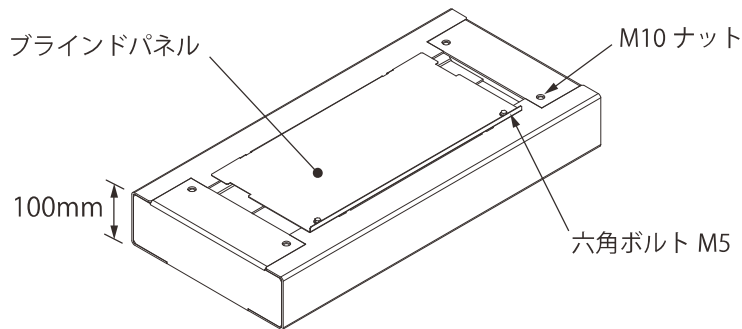
- ・下図a部のケーブルガイドを左右にスライドさせ取り外します。光コードを配線してください。



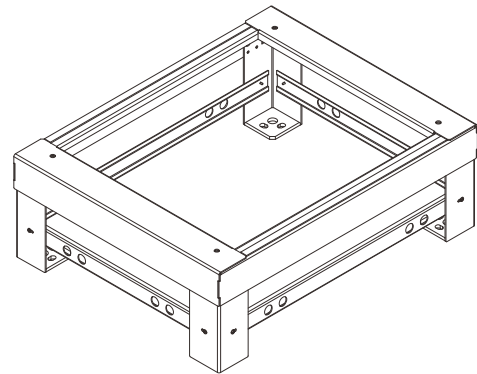
- (ご注意)
ケーブルガイドは回転させないでください。ケーブルガイドが破損するおそれがあります。

■基台、フリーアクセスフロア基台について

基台は組替仕様になります。基台が必要な場合は、標準品の品名記号の末尾に「-B」をつけてご用命ください。
フリーアクセスフロア基台は個別対応品になります。フリーアクセスフロア基台が必要な場合は、別途お問合せください。



基台



フリーアクセスフロア基台

※基台組替仕様は、ご希望により基台を先行して発送することができます。
価格・納期などの詳細は別途お問合せください。

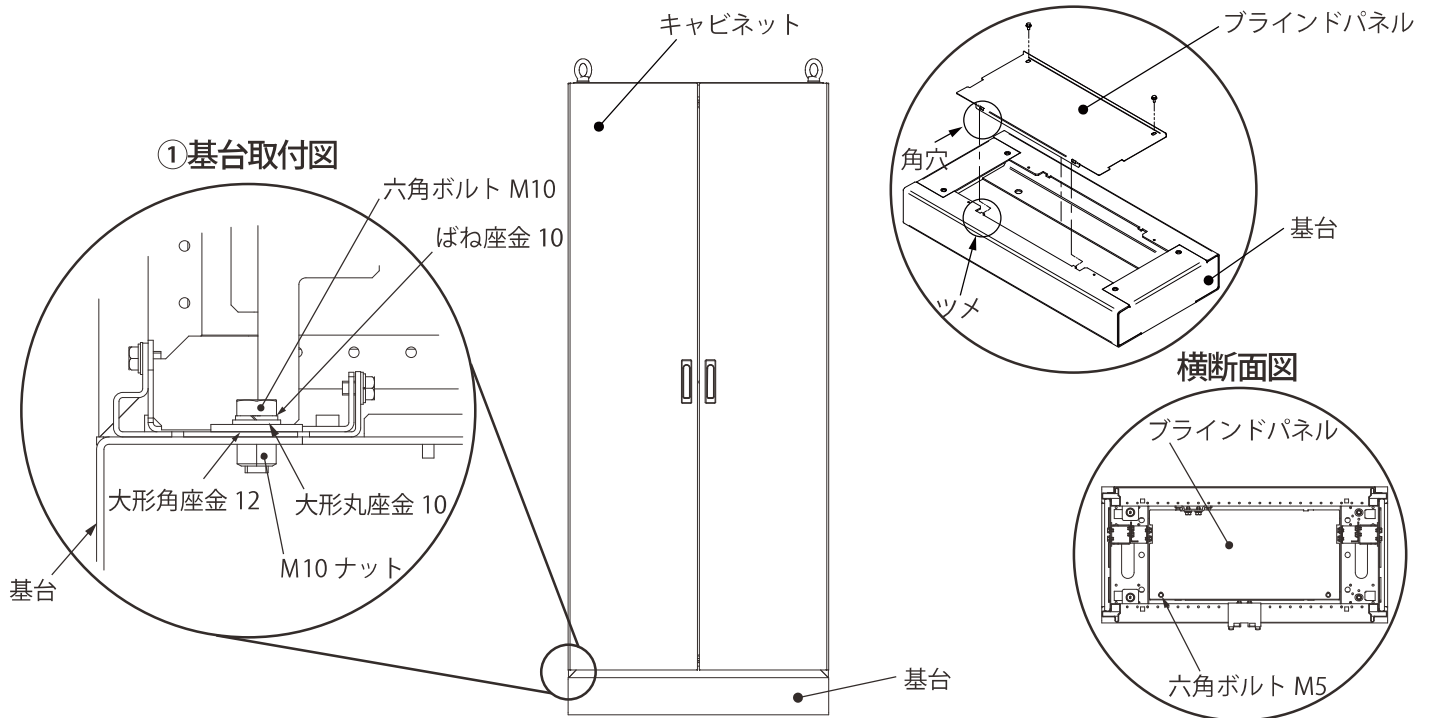
■基台の取付方法

- ・ブラインドパネルの取付ねじ(六角ボルト M5) を取り外して、基台の M10 ナットに六角ボルト M10・大形角座金 12・大形丸座金 10 を「①基台取付図」のように取り付けてください。
- ・ブラインドパネルの取付は、基台にあるツメをブラインドパネルの角穴に差し込んで、六角ボルト M5 にて取り付けてください。

(ご注意)

光ケーブル、光コードの入出線は、ブラインドパネルを取り外すか、穴加工をしてください。

ブラインドパネル取付詳細図



⚠ 注意



使用するねじやボルトは、指定されたものを使用してください。
取り付けの際は、適正締め付けトルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、落下・破損の原因になります。また、
締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付けトルク
M5	2.9 ~ 3.9 N・m
M10	19.6 ~ 29.4 N・m

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合せください。

TEL (0561) 64-0152

〈受付時間〉 8:30 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:30 (土・日・祝日は休み)

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2023年4月
B923710942